

小学校 3年 国語科

考える

読む
書く

育成したい
国語力

部分部分の中心点をとらえ、それらをつなげながら、全体の意味を読む。中心点をとらえ、場面の移り変わりや内容の展開を予想しながら読む。中心点を明確にし、読み手の受け取り方や考えを予想しながら、自らの考えを書く。

低学年
中学年
高学年
中学前
中学後

国語

社会

数算
学数

理科

生活

外国語

活動
特別

道徳

総合
学習

単元名

大事なことをたしかめよう 「すがたをかえる大豆」 「食べ物はかせになろう」

単元の流れ

第1次(3)

- 本作りの見通しをもつ。
- ・「食べ物はかせになろう」を読む。
 - ・調べたい食べ物を決める。
 - ・本で調べる方法を知る。
 - ・学習計画を立てる。

第2次(本時2/7)

- 説明的な文章で書き方を学ぶ。
- ・「すがたをかえる大豆」を読み、内容を読み取る。
 - ・文章全体を「はじめ・中・終わり」に分けて、それぞれの内容を確認する。

第3次(9)

- 調べたい食べ物についての情報を収集する。
- ・情報を集めて、情報カードに書く。
 - ・情報カードを基に文章を書く。
 - ・情報を整理して、本に表す。
 - ・清書し、本を作る。
 - ・本を読み合い、評価し合う。

本時の目標

段落相互の役割を考え、文章全体における段落の役割を理解する。
(読む能力)

国語力育成の視点

「すがたをかえる大豆」では、段落相互の関係を考えながら、文章全体の内容を理解することがねらいです。指示語、接続語、文末表現などに着目させながら、はじめ・中・終わりといった展開の仕方や考えの中心になる文の置き方、順序にそった述べ方など、段落相互の関係に気付かせることも大切です。自分で段落の関係に気付きながら読み取ることができる、主体的な学習活動を効果的に取り入れることで考える力を育成します。

導入

本時のめあてを確認する。

めあて：
文章全体における段落の役割を理解する。

展開

形式段落に見出しを付け、それぞれの段落の中心点を押さえる。

意味段落に分けることで、段落相互の関係を理解する。その分け方について、自分の考えと他人の考えを比較する。

段落相互の関係を考えながら、全体を読み、大豆を食べる工夫を正しく読み取る。

まとめ

友達の発表を聞き、その内容について気付いたこと疑問点などについてまとめる。

視点②

「はじめ」「中」「終わり」に分けて、その内容をまとめていきます。その際、言葉のはたらきに目を向けながら、「何がどのように書いてあるのか」を読み取る授業を進めていくことが必要です。まずは、「終わり」の段落がどこからかを、そのわけとともに他の児童と話し合い、自分の読みを確かめることが大切です。また、発問する際、「思う」と「考える」の意味の違いを児童に意識させることも必要です。

視点①

「題名読み」「初発の感想」「学習計画作り」などを行うことで、話の内容を大まかに読み取るとともに、学習に見通しを持たせます。次に、形式段落ごとに中心点をとらえながら小見出しを付けさせます。

この段階を経て、中心となる語や文、段落相互の関係を押さえながら、全体を読み、大豆を食べる工夫を正しく読み取らせませす。

ワークシート

8	7	6	5	4	3	2	1		
							多くの人がほとんど毎日、食べている大豆	「小見出し」	「大事なこと」
									「食品」

「すがたをかえる大豆」ワークシート1

終わり	中	はじめ		
			段落	大事なこと

大事なこととまとめよう。

「終わり」は、() (段落からだと考えます。なぜなら、) (だからです。)

「すがたをかえる大豆」ワークシート2

「はじめ」「中」「終わり」に分けて、それぞれの大事なこととまとめよう。

「終わり」は、() (段落からだと考えます。なぜなら、) (だからです。)